

一人材育成について チャレンジ賞

チャレンジ賞とは

夢や志を実現することが可能であると信じられるような、柔軟で活力ある組織を築くために、“輝いている”社員を四半期ごとの社員総会で表彰する制度です。挑戦した人、会社・地域に貢献した人、業務提案をした人、たくさん努力した人、その他顕著な行動等がノミネートされ、審査のうえ受賞が決定します。



第33回受賞者



関根聡美 (宅配サービス部)

おなか元気レシピコンテストを立案・実施

宅配サービス部の企画担当者として、お客さま、ヤクルトスタッフ、会社の「つながり」を築くため、管理栄養士の資格を生かし「おなか元気レシピコンテスト」を立案・実施しました。結果、64名の応募があり、ヤクルト商品を使ったレシピや、おなかにやさしいレシピ等が集まり、審査も管理栄養士で行いました。このコンテストを通じて、お客さま・ヤクルトスタッフ・会社の「つながり」を築いて一体感を生み出し、全社を巻き込む新しい企画にチャレンジしました。



最高のチームで賞



高崎東サービスセンター一岡 (宅配サービス部)

高崎東サービスセンター一丸となって業務改革

蟹江主任の高崎東を良くしたい想いと、ヤクルトスタッフ・センターマネージャーの業務時間削減のため、業務改善を図りました。仕事とプライベートの調和を図り、心身共に健康で「この仕事をして良かった!今後も長く働きたい!」と思える職場環境を目指すことで、ヤクルトスタッフのイメージ向上と、それを通じた採用への好影響も期待し、全員で業務改善検証活動を行いました。

主に「センター内業務の時間を統一した顧客管理・お届け時間の変更」を行い、メリハリをつけた時間内でのお届けを行いました。ヤクルトスタッフは帰宅時間が早くなり「家庭での時間が取れるようになり、身体が楽になった」と好評でした。センターマネージャーの帰宅時間も早くなり生産性の向上と、心身の負担が減ることでモチベーションアップにも繋がりました。

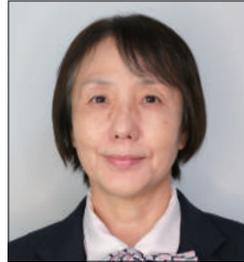
また、今回の高崎東サービスセンターの業務改善モデルを宅配会議で共有し、宅配サービス部全体の業務改善モデルを構築していくきっかけにもなりました。



角田智博・道辻道代・松本みゆき(宅配サービス部)

子育てサロンでのつながり作り

採用活動を行う中で「なかなか対象者に会えない」という課題を、道辻さんの「昔、子育てサークルに通っていた」という一言から、高崎市内の子育てサークルを調べ連絡し、聞き取りを行う中で、イベントの内容がマンネリ化していることが悩みだとわかりました。



そこで、歌や体操、人形を使った乳酸菌ショーを提案した結果、4つの子育てサークルで「Yakultわくわく教室」を開催し、イベント終了後のアンケートでは97%以上の方が「満足・大変満足」と、たくさんの子育てママと子どもたちに、大変喜ばれました。

新たな子育てサークルからも依頼があり「つながり」が広がり、「Yakultわくわく教室」を通じて、子育てママや民生委員等へ、当社の取り組みを認知する機会作り、双方の問題解決にチャレンジしました。



第34回受賞者



池田優子(宅配サービス部)・高橋江里加(未来価値創造部)

なりたい自分になる90日チャレンジ目標達成

当社が以前から取り組んできた「メタボ脱出90日チャレンジ」を、ヤクルトスタッフ向けにアレンジした高橋社員。ご自身の努力で色々試してきたけれど、なかなか成果に繋がらなかった池田AD(前橋中央SC)。今回、その2人がタッグを組み、二人三脚で目標にチャレンジしました。活動は、専門家として高橋社員(管理栄養士)がマンツーマンで指導。池田さんは、その指導に沿って、地道な努力を重ねるという長い道のりでしたが、「なんとしても達成する」という強い気持ちを2人で持ち続けたことが、目標達成につながりました。



反町麻美 (広報部)

桐生大学の学生へ講義を実施

現在、反町主任は広報部で群馬県栄養士会との連携事業を担当しています。活動は自治体や地域団体等を巻き込み多岐にわたっていますが、その提案力・実行力に対しては高い評価をいただいています。今回は、桐生大学から「ぜひ、うちの学生に企業の管理栄養士の役割を知ってもらいたい」ということで、講義の依頼があり実現しました。当日は「当社の企業活動」さらに「これからの管理栄養士の可能性」等について講義を行い、講義後は学生からの質問に丁寧に答えていました。今後も、反町主任は管理栄養士として新たな機会に挑み続けていくことでしょう。



最高のチームで賞



安田まゆみ・小堀由美子・赤石佳斗 (宅配サービス部)

こども夏祭りを開催

旧群馬町サービスセンターでは、採用活動に関して、「なかなか対象者に会うことができず、センター見学に呼ぶことも難しい」という現実がありました。

そこで、「ヤクルトのセンターを知ってもらうことも大事なので、まずはきっかけ

作りをしよう!」と考え、さまざまな議論を交わし、今回は『こども夏祭り』を開催しました。子どもたちも夏休み中だったので、子ども向けにはゴム鉄砲や磁石を使った魚釣り、お母さん向けには美容コーナーを用意したところ、来場者に大変喜んでいただき、さらにセンターを地域の皆さまに知っていただく機会にもなりました。こども夏祭りの企画立案から運営まで、抜群のチームワークで課題を解決しました。



直販サービス部 店舗ルート課・エアールート課 (直販サービス部)

けやきウォーク前橋で「家族で楽しもうヤクルトクイズラリー」開催

直販サービス部の価値普及活動としては、最大級のイベントである「家族で楽しもうヤクルトクイズラリー」を、けやきウォーク前橋で実施しました。このイベントは、直販サービス部24名全員で企画を練り上げ、その後の準備、当日の運営についても一体感を持って行いました。

イベント終了後には「よく考えられたイベントで驚きました。お客さまも喜んでいましたし、売り場は通常の7倍もの売り上げがありました!!」と、店舗の担当者が驚かれたほどで、大成功!それぞれの役割を全うし、全員で目標をやり遂げた、素晴らしいチームです!





第35回受賞者



吉村海人(直販サービス部)

国内旅行業務取扱管理者試験に合格

旅行が好きな吉村主任は、その知識を深めるために、旅行業界や旅行サービスが「どのように成り立っているのか学ぼう」と考え取り組んだのが、国内旅行業務取扱管理者の資格でした。最初は好奇心からのスタートでしたが、勉強を続け見事試験に合格しました。今後もさまざまなことに興味を持ち、自身のスキルアップに繋がるチャレンジを続けたいそうです。



穴原雅代(総務部)

保育士資格を取得して夢を実現

穴原さんは、7年のヤクルトスタッフを経験した後、「保育士になる夢」を諦めきれず、受験条件(実務経験2年以上等)を満たすため、キッズルームの仕事に従事しました。それと同時に独学で勉強を続け、見事に最短3年目で保育士の資格を取得しました。現在はフォロー担当保育士として、各エリアのキッズルームで活躍中です。



原野亜衣(宅配サービス部)

国体で2年連続の入賞

鹿児島県で開催された「かごしま国体」のソフトテニス成年女子団体に出場し、5位入賞を果たしました。昨年の「とちぎ国体」に続いて、2年連続の入賞です。普段は高崎中央サービスセンターの職域専門コースでお届けをしながら練習に励むという二刀流。

仕事とソフトテニスの両立は大変だと思われませんが、仕事の手を抜くことなく見事に結果を残しました。



田島梨紗(宅配サービス部)

宅地建物取引士資格試験に合格

合格率が15～17%という、難関「宅地建物取引士(国家資格)／通称:宅建」の資格試験に、最初は跳ね返されるも、諦めずに3回目のチャレンジで合格しました。

産休・育休中の時間を上手に活用し、モチベーションを維持しつつコツコツ勉強を続け、見事目標達成しました。



茂木りな (未来価値創造部)

母校の高崎商科大学で講義

大学卒業後も同窓会役員として学校運営に協力している茂木係長。昨年からは学生や教職員の健康増進サポートに取り組み、地域連携センターに対してポールウォーキングや健康経営の提案などを行ってきました。今回は、70名の学生を対象に「健康経営を選択する時代」をテーマにした90分の講義を行い、好評を得ました。



最高のチームで賞



安田まゆみ・小堀由美子・松本みゆき・小川泉・小池加奈・黒岩那月・志村由香利・江波ひとみ・高崎北サービスセンターのヤクルトスタッフ/AD (宅配サービス部)

高崎北サービスセンターお披露目会を実施

2023年9月に移転し、名称が群馬町サービスセンターから高崎北サービスセンターに変更になりました。新しくなったサービスセンターを地域の方々に知っていただき、より絆を深めたいとの考えで、センター関係者が一丸となってお披露目会を計画・実施しました。事前にヤクルトスタッフがお客さまをお誘いしたことで、当日は約100組200名の方々が参加してくださり、大好評のお披露目会でした。



第36回受賞者



津田美枝 (宅配サービス部)

リンパケアセラピスト【アロマ】と スキンケアアドバイザー資格合格

化粧品のお届けとエステを施術する中で、自身のスキルアップとお客さまをもっと綺麗にしたいとの思いから、より「美」に関することに興味を持ち、家事と仕事の合間にリンパケアセラピスト【アロマ】とスキンケアアドバイザーについて勉強を始め、見事資格を取得しました。エステ後もお客さまが心も体も満足していただけるように、アドバイスを行っています。



南容子 (宅配サービス部)

なりたい自分になる90日チャレンジ目標達成

高崎北SCの南さんは、2023年度ヤクルトスタッフ向け90日チャレンジの第1回募集を行った際、率先して手を上げてくださった内の1人。「少しでも健康できれいな姿でいたい」という思いから、これまでも健康に関する情報を収集し、自分でできることを努力してきましたが、今回のチャレンジ(9月～12月の90日間)で目標となる数値を大幅に下回る結果を出しました!



永井エリコ・保科瞳 (宅配サービス部)

化粧品従事者愛用の拡大と自信の醸成

1月にPSM活動を実施することになり、この活動を好機ととらえた永井BCと保科主任は、「スタッフに前向きに楽しく活動をしてもらいたい」という思いから、パラボのメイク品を貸し出したり、お客さまに使用するカウンセリングシートを全員に記入してもらうことで、お肌に対する意識を高めるなどの準備を行いました。それにより、上並榎サービスセンターのPSM活動に臨む態勢が整い、見事全員が活動目標を達成しました。



栗原優奈 (未来価値創造部)

健康情報を知っていただき、ヘルスケアパートナーを目指す

宅配サービス部でのお届け経験から、持病に悩んでいるお客さまが多いことを感じていた栗原社員は、ヤクルトスタッフを対象に、お客さまのお悩み軽減のための「ヘルスケアパートナー」を目指す取り組みを企画。まずは「自宅で気を付けるべき食事や調理法などを教えて欲しい」という声に応えるため、管理栄養士の知識を活用して勉強会を実施しました。また、お客さまからの質問に答えられるように掲示物も作成しました。



小池颯 (直販サービス部)

部門横断価値普及活動

小池主任が自動販売機のオペレーションを担当しているアムールタウン高崎様において、職員さま、入所者さまを対象にした健康増進の取り組みを企画しました。ヤクルトスタッフもお届けをしていることから、宅配サービス部や未来価値創造部とも連携して、ヤクルト健康イベント(健康教室、商品紹介、サンプリング等)を実施しました。



高橋花央子 (宅配サービス部)

群馬県女子サッカーリーグベストイレブンに選出

高崎中央サービスセンターの職域専門社員としてヤクルトのお届け活動の後、夕方からは Palaistra Ladeis (女子サッカーチーム) の一員として、仕事とサッカーを両立させている高橋社員は、2023年度は群馬県女子サッカー1部リーグで3位入賞しました。さらに、個人で2023年度リーグ戦での、年間イレブンに選出されました。



最高のチームで賞



土屋純子・齋藤洋一郎・高橋萌・古住優季 (直販サービス部)・渡邊光・中里佳奈 (総務部)・
萩原脩平・横田弥子 (DX推進部)・反町麻美 (広報部)・林和宏・友野翔平 (未来価値創造部)

全社横断エリア価値普及活動「ヤクルト食育劇」

今年度、コロナ禍の収束を期に「食育劇」を再開しました。通常業務の合間を縫って、直販サービス部が主幹となり、新たなメンバーも加わり、演じるための個人練習、集合練習を重ねました。今年度は、こども園などで8回実施することができ、食育劇をきっかけに園との関係値が深まり、新たなお取引先さまも増えました。



特別賞



寄贈 志村由香利先生 作 本店玄関前(水彩画)

群馬ヤクルトの強みを教育現場へ

志村由香利先生 (2023年長期社会体験研修員)

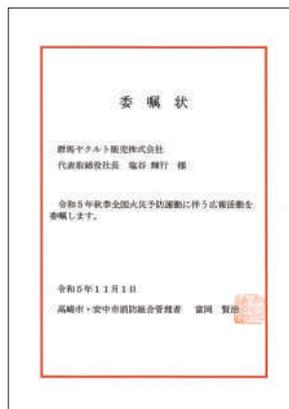
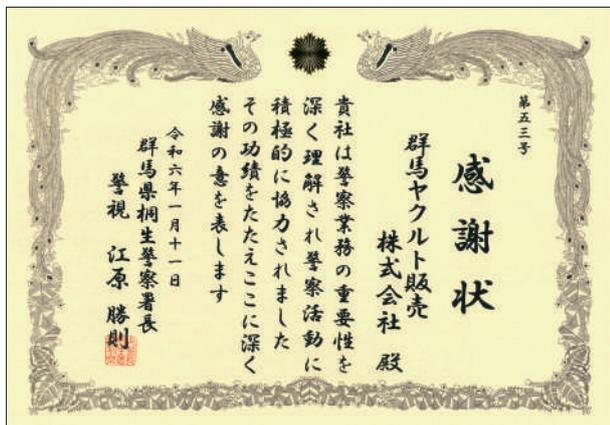
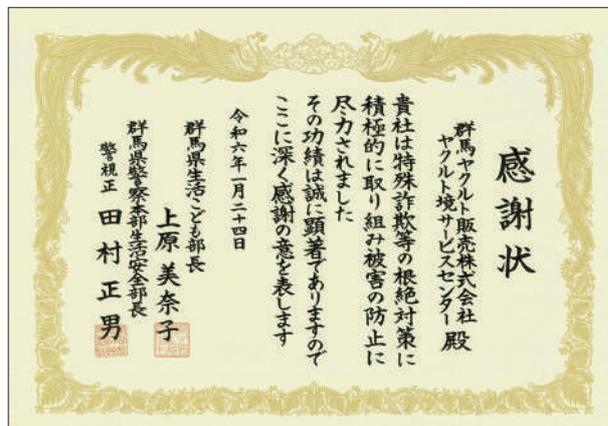
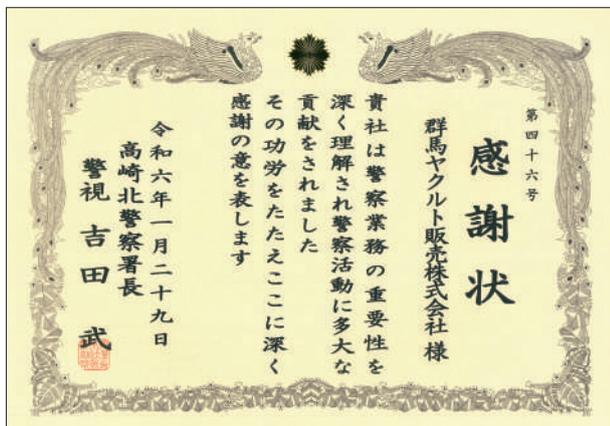
教育現場から飛び出し、民間企業において一からさまざまな経験を主体的に積み、その学びを教育現場に活かすことにチャレンジしました。



感謝状・表彰状

今年度、群馬ヤクルトや従事者の日頃の活動に対して自治体や警察、団体からその活動を高く評価していただき、授与された感謝状・表彰状です。今後も、社会的課題解決のため、地域社会とともに取り組んでまいります。

特殊詐欺等の対策への協力に対する感謝状



ヤクルトスタッフの警察活動協力への感謝状

高崎市等広域消防局より、秋季・春季全国火災予防運動に伴うヤクルトスタッフの広報活動に対する委嘱状